

- 1 ( ) そう思う
- 2 ( ) ある程度そう思う。
- 3 ( ) どちらとも言えない
- 4 ( ) 余りそう思わない。
- 5 ( ) そう思わない。

説明が不足していたと感じる方へお尋ねします。今後どのような情報の提供方法、リスクコミュニケーションが必要とお考えですか？

(  
)

#### 4. 国境措置の緩和についてお聞きします。

4-1) 30ヶ月齢以下のアメリカ、カナダ産の牛肉の輸入が認められましたが、安全性をどのように感じますか。

- 1 ( ) 日本産よりも安全ではない
- 2 ( ) 日本産と同じくらい安全である
- 3 ( ) 日本産よりも安全である
- 4 ( ) 分からない

不安と感じる場合、どのような点が不安であるか、あなたの考えにもっともあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 ( ) 輸出国の BSE 発生状況
- 2 ( ) 輸出国の BSE 管理措置とわが国の BSE 管理措置の違い
- 3 ( ) 輸出国の BSE 管理措置の遵守状況
- 4 ( ) 輸出条件の遵守状況
- 5 ( ) その他（下欄にご記入ください）

(  
)

4-2) 30ヶ月齢以下のフランス、12ヶ月齢以下のオランダ産の牛肉の輸入が認められましたが、安全性をどのように感じますか。

- 1 ( ) 日本産よりも安全ではない
- 2 ( ) 日本産と同じくらい安全である
- 3 ( ) 日本産よりも安全である
- 4 ( ) 分からない

不安と感ずる場合、どのような点が不安であるか、あなたの考えにもっともあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 ( ) 輸出国の BSE 発生状況
- 2 ( ) 輸出国の BSE 管理措置とわが国の BSE 管理措置の違い
- 3 ( ) 輸出国の BSE 管理措置の遵守状況
- 4 ( ) 輸出条件の遵守状況
- 5 ( ) その他 (下欄にご記入ください)  
(  
)

5. 非定型 BSE についてお聞きします。

5-1) 英国で発生して世界に広がって大きな社会問題となった BSE を定型 BSE と呼びますが、定型 BSE とは異なる性質を持つ非定型 BSE が存在することをご存じでしたか。

- 1 ( ) 知っていた
- 2 ( ) ある程度知っていた
- 3 ( ) あまり知らなかった
- 4 ( ) 知らなかった

5-2) 非定型 BSE は、非常に稀な病気ですが、高齢の牛で自然発生する可能性があります。また、研究の結果から、人に感染する可能性は否定できません。非定型 BSE をどのように感じますか。

- 1 ( ) 大変不安である
- 2 ( ) 不安である
- 3 ( ) どちらとも言えない

- 4 ( ) 不安ではない
- 5 ( ) まったく不安ではない

上のように思われた理由を教えてください。

( )

6. 今後の BSE 管理措置についてお聞きします。

6-1) 平成 13 年 (2001 年) から平成 25 年 (2013 年) まで行われていた日本の BSE 対策をどのように評価していますか。

- 1 ( ) 適切であった
- 2 ( ) おおむね適切であった
- 3 ( ) 不満である
- 4 ( ) 大変不満である
- 5 ( ) わからない

不満と感ずる場合、どのような点を不満に思ふかを教えてください。

( )

6-2) 平成 25 年 (2013 年) から行われている新しい BSE 対策をどのように評価していますか。

- 1 ( ) 適切であった
- 2 ( ) おおむね適切であった
- 3 ( ) 不満である
- 4 ( ) 大変不満である
- 5 ( ) わからない

不満と感ずる場合、どのような点を不満に思ふかを教えてください。

( )

6-3) 今後の BSE 管理措置をどのように変更していくべきとお考えですか。あなたの考えにもっともあてはまるものを一つ選んでください。

- 1 ( ) BSE の発生は世界的に減少しているので、より積極的に管理措置の緩和を進めるべきだ
- 2 ( ) これ以上の緩和は慎重にすべきだ
- 3 ( ) より国民の理解が得られる努力をすべきだ
- 4 ( ) 諸外国の状況を勘案しながら緩和を進めるべきだ
- 5 ( ) 特殊な病原体なので科学的知見をより重視すべきだ
- 6 ( ) 調査研究を継続し、より安全・安心に資するべきだ
- 7 ( ) 緩和には反対である
- 8 ( ) その他 (下欄にご記入ください)  
(

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

3月5日までにご投函されるようお願い致します。

なお、思うことがございましたら、以下の空欄に、ご自由にご記入ください。

ご回答いただいた皆さまには後日、調査結果と BSE 関連の最新の資料類を、貴消費者協会宛にお送りする予定です。

(と畜・食肉処理関係者用)

## BSE の管理措置変更に関するアンケート調査について

### 目的

本調査の目的は、平成 25 年（2013 年）に導入された BSE 管理措置の変更に対する、消費者および生産者の理解度、および管理措置の変更に伴う食肉処理現場の対応を把握することです。これらの結果から、BSE 管理措置に対する疑問点や BSE に対する不安要素等を抽出し、今後の BSE 対策のあり方等の検討に活用します。

平成 13 年（2001 年）9 月に千葉県で BSE 牛が摘発されたことを受けて、我が国では、BSE 感染牛の組織がフードチェーンに入ることを阻止するために、と畜場における BSE スクリーニング（BSE 検査）や特定危険部位の除去等の管理措置が導入されました。平成 17 年（2005 年）8 月には、21 ヶ月齢未満の牛は BSE スクリーニングの検査対象から外れましたが、と畜場でと畜される牛全頭を対象としたスクリーニングが行われてきました。

また、平成 15 年（2003 年）5 月および 12 月にカナダおよび米国での BSE 摘発を受けて、牛肉の輸入禁止措置を行ってきましたが、平成 17 年 12 月に 20 ヶ月齢以下の牛の輸入が再開されるに至りました。一方、我が国も国際獣疫事務局 OIE の無視できるリスク国（平成 25 年 5 月）となりました。

そのような流れの中で、平成 25 年には、食品安全委員会でのリスク評価結果を受け、我が国で実施してきた管理措置が大きく緩和されました。新しい BSE 管理措置では、飼料規制は継続され、食用に供される牛の BSE 検査対象月齢が引き上げられ、特定危険部位の対象月齢が変更されています。

- ・平成 25 年 2 月 1 日：輸入措置の見直し
  - アメリカ、カナダ 20 ヶ月齢以下→30 ヶ月齢以下
  - フランス：輸入禁止→30 ヶ月齢以下
  - オランダ：輸入禁止→12 ヶ月齢以下
- ・平成 25 年 4 月 1 日：
  - BSE スクリーニングの検査対象月齢を 30 ヶ月齢超に変更
  - 特定危険部位を 30 ヶ月齢超に変更（扁桃、回腸遠位部を除く）
- ・平成 25 年 7 月 1 日
  - BSE スクリーニングの検査対象月齢を 48 ヶ月齢超に変更

なお、ご回答いただいた皆さまには後日、調査結果と BSE 関連の最新の資料類をお送りする  
予定でいます。

企画・実施者

堀内基広

北海道大学大学院獣医学研究院教授

厚労省厚生労働科学研究費補助金（食品の安全確保推進研究事業）：「食品を  
介する伝達性海綿状脳症のリスクと対策等に関する研究」

協力者

小林国之

北海道大学大学院農学研究院助教（北大農・小林－吉田グループ代表）

平川全機

北大農・小林－吉田グループ（代表 小林国之：北海道大学大学院農学研究院助教）

吉田省子

JST 科学技術コミュニケーションセンター アソシエートフェロー

北海道大学大学院農学研究院客員准教授

北大農・小林－吉田グループ（代表 小林国之：北海道大学大学院農学研究院助教）



- 1 ( ) より迅速に進めるべきだった
- 2 ( ) 適切であった
- 3 ( ) より慎重に進めるべきだった
- 4 ( ) 分からない

2. 国内の管理措置変更に伴う混乱の有無についてお聞きします。

2-1) 管理措置変更に伴いどの程度の設備投資を行いましたか。

- 1 ( ) 大幅に行った
- 2 ( ) ある程度行った
- 3 ( ) 若干行った
- 4 ( ) 必要なかった

1～3を選んだ方は、実際にどのような設備等を導入したか記載して下さい。  
(  
)

2-2) 管理措置変更に伴い、作業工程にどの程度の変更を行いましたか。

- 1 ( ) 大幅に行った
- 2 ( ) ある程度行った
- 3 ( ) 若干行った
- 4 ( ) 必要なかった

1～3を選んだ方は、実際にどのような変更を行ったか記載して下さい。  
(  
)

2-3) 大幅に作業工程を変更した方にお尋ねします。変更した当初、混乱が生じたか。

- 1 ( ) 大きな混乱が生じた
- 2 ( ) 多少混乱が生じた
- 3 ( ) 余り混乱は生じなかった



4 ( ) まったく混乱は生じなかった

1～3を選んだ方は、実際にどのような混乱があったか記載して下さい。

(  
)

2-4) 管理措置変更後の作業量は多くなりましたか少なくなりましたか。

1 ( ) 作業が多くなった

2 ( ) 変わらない

3 ( ) 作業が少なくなった

3. 非定型 BSE についてお聞きします。

3-1) 英国で発生して世界に広がって大きな社会問題となった BSE を定型 BSE と呼びますが、定型 BSE とは異なる性質を持つ非定型 BSE が存在することをご存じでしたか。

1 ( ) 知っていた

2 ( ) ある程度知っていた

3 ( ) あまり知らなかった

4 ( ) 知らなかった

3-2) 非定型 BSE は、非常に稀な病気ですが、高齢の牛で自然発生する可能性があります。また、人に感染する可能性があると考えられます。非定型 BSE をどのように感じますか。

1 ( ) 大変不安である

2 ( ) 不安である

3 ( ) どちらとも言えない

4 ( ) 不安ではない

5 ( ) まったく不安ではない

上のように思われた理由を教えてください。

( )

4. 国境措置の緩和についてお聞きします。

4-1) 30ヶ月齢以下のアメリカ、カナダ産の牛肉の輸入が認められましたが、安全性をどのように感じますか。

- 1 ( ) 日本産よりも安全ではない
- 2 ( ) 日本産と同じくらい安全である
- 3 ( ) 日本産よりも安全である
- 4 ( ) 分からない

不安を感じる場合、どのような点が不安であるか、あなたの考えにもっともあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 ( ) 輸出国の BSE 発生状況
- 2 ( ) 輸出国の BSE 管理措置とわが国の BSE 管理措置の違い
- 3 ( ) 輸出国の BSE 管理措置の遵守状況
- 4 ( ) 輸出条件の遵守状況
- 5 ( ) その他 (下欄にご記入ください)
- 6  
( )

4-2) 30ヶ月齢以下のフランス、12ヶ月齢以下のオランダ産の牛肉の輸入が認められましたが、安全性をどのように感じますか。

- 1 ( ) 日本産よりも安全ではない
- 2 ( ) 日本産と同じくらい安全である
- 3 ( ) 日本産よりも安全である
- 4 ( ) 分からない

不安を感じる場合、どのような点が不安であるか、あなたの考えにもっともあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 ( ) 輸出国の BSE 発生状況

- 2 ( ) 輸出国の BSE 管理措置とわが国の BSE 管理措置の違い
- 3 ( ) 輸出国の BSE 管理措置の遵守状況
- 4 ( ) 輸出条件の遵守状況
- 5 ( ) その他 (下欄にご記入ください)
- 6  
(  
)

5. 今後の BSE 管理措置についてお聞きします。

5-1) 平成 13 年から平成 25 年まで行われていた日本の BSE 対策をどのように評価していますか。

- 1 ( ) 適切であった
- 2 ( ) おおむね適切であった
- 3 ( ) 不満である
- 4 ( ) 大変不満である
- 5 ( ) わからない

不満と感ずる場合、どのような点を不満に思ふかを教えてください。

( )

5-2) 平成 25 年から行われている新しい BSE 対策をどのように評価していますか。

- 1 ( ) 適切であった
- 2 ( ) おおむね適切であった
- 3 ( ) 不満である
- 4 ( ) 大変不満である
- 5 ( ) わからない

不満と感ずる場合、どのような点を不満に思ふかを教えてください。

( )

5-3) 今後の BSE 管理措置をどのように変更していくべきとお考えですか。あなたの考えにもっともあてはまるものを一つ選んでください。

- 1 ( ) BSE の発生は世界的に減少しているので、より積極的に管理措置の緩和を進めるべきだ
- 2 ( ) これ以上の緩和は慎重にすべきだ
- 3 ( ) より国民の理解が得られる努力をすべきだ
- 4 ( ) 諸外国の状況を勘案しながら緩和を進めるべきだ
- 5 ( ) 特殊な病原体なので科学的知見をより重視すべきだ
- 6 ( ) 調査研究を継続し、より安全・安心に資するべきだ
- 7 ( ) 緩和には反対である
- 8 ( ) その他 (下欄にご記入ください)  
(  
)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

.....

